

池の設備とメンテナンス

どのような池かによって、池に付随する浄化設備とそのメンテナンスが変わります。

5 トン池クラス



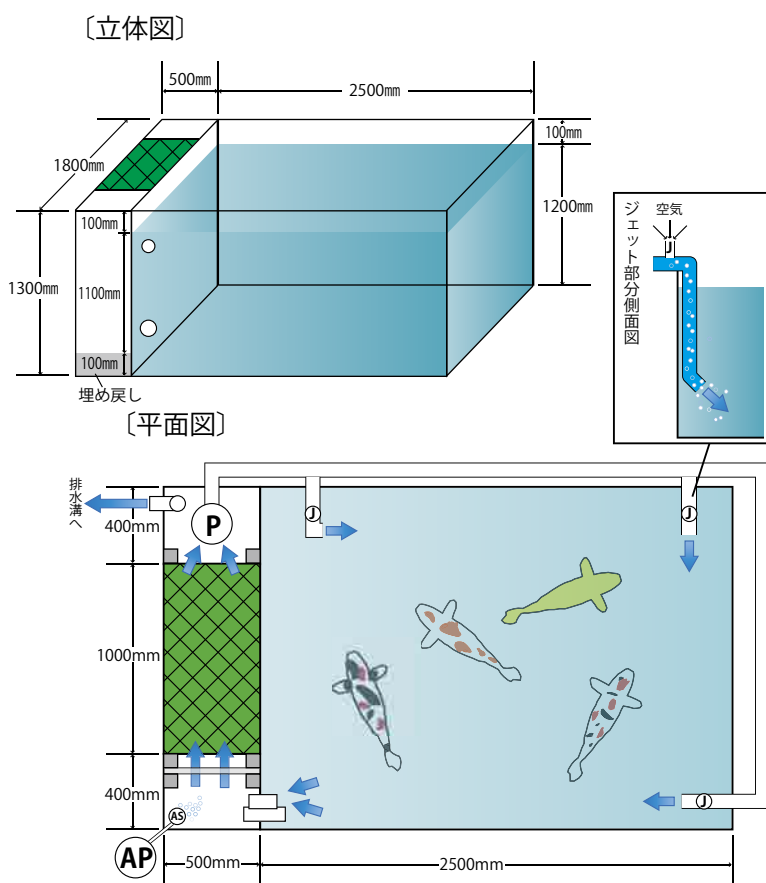
ウォータークリーナーが
設置された池

ウォータークリーナーが適しています。フィルターを毎日掃除すると良いでしょう。予備のフィルターを用意し、隔日で清掃・交換する愛好家もいます。



タカラ工業株式会社

20 トン池クラス



エンドレス方式の池をおすすめします。池の図面は左のようになります。

生物浄化の仕組みで、水はいつもきれいで、手間いらずの池になります。20年間掃除しなくても水は澄んだままの池があります。



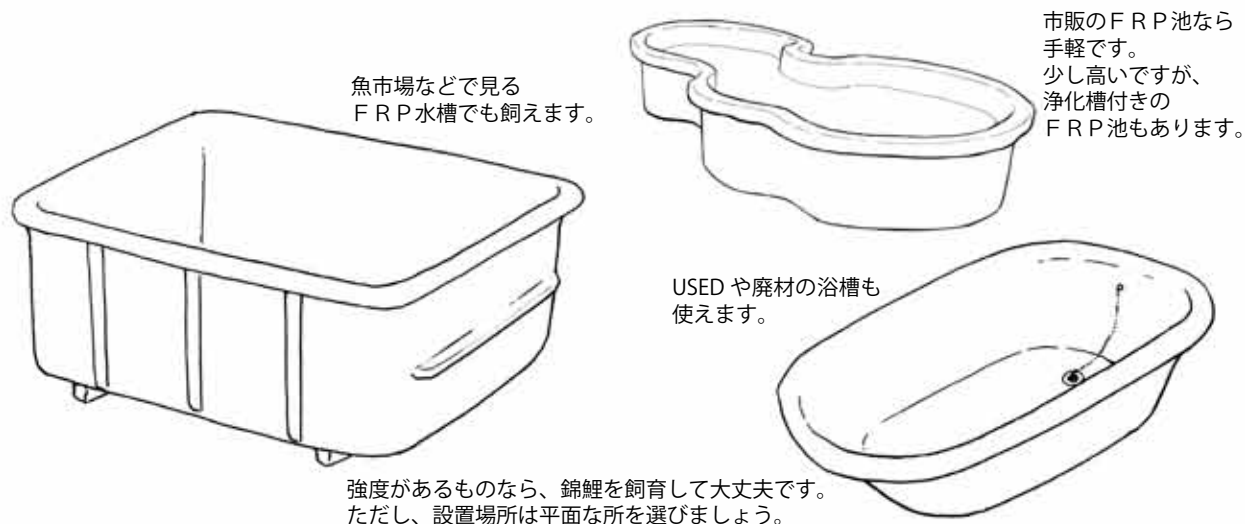
日本リフレッシュ研究所

池によって、さまざまな設備やメンテナンスがあります。上記は一例ですので、工夫しながら、自分の池にあった設備とメンテナンス方法にすると良いでしょう。

エンドレス方式の池については『鱗光』2010年9月号「池の基本」を参照ください。

池の造り方

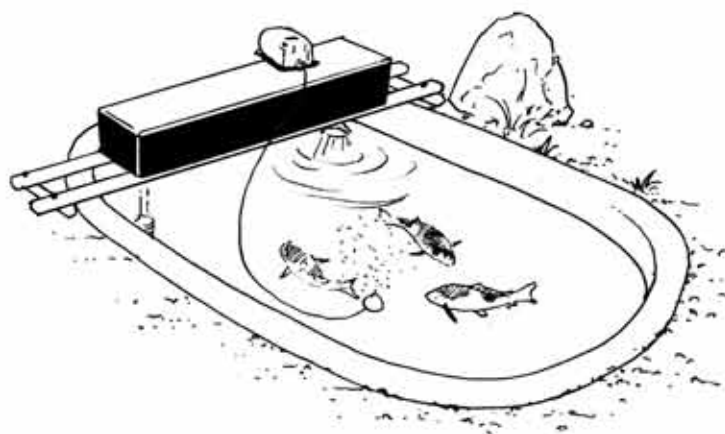
錦鯉を飼うには池が必要ですが、最初から本格的な池を造らなくても、手近にあるもので代用できるし、シート池なら日曜大工感覚で造れます。



浄化装置のいろいろ



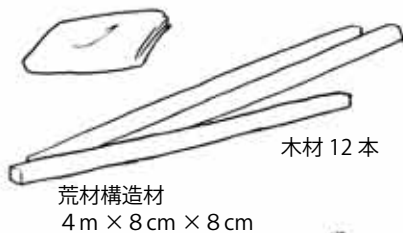
※屋外で使用する場合は、
屋内用電気製品は防水に
注意してください。



日曜大工で造る簡単シート池 木組みシート池編

材 料

防水シート (4×5m)



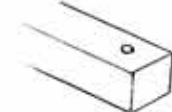
金属棒 4 本 (ナット)
(深さ分の長さのもの)

木ネジ
14cm

①材料を加工する



それぞれの寸法に
切ったら角に
穴を開けておく



お店で購入時に
切ってもらっておくと
運ぶのも手間いらず

②組んでいく



仮組み
9 段
(全 10 段)
深さ 72cm

一番上はシートをはさみこむので、
すきまを埋める木材をかます

③シートを張る



角は上手に
折り込んで
シワのないように
作ると完成が
きれいになります

10 段目
9 段目

固定する

④上に木をかまして固定すれば完成

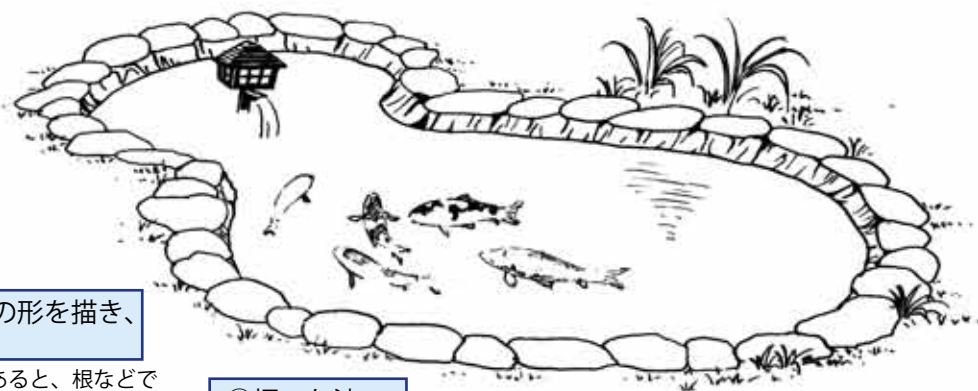
浄化装置などを
工夫して
設置しましょう



自分で造れる簡単シート池 地掘り池編

材 料

防水シート

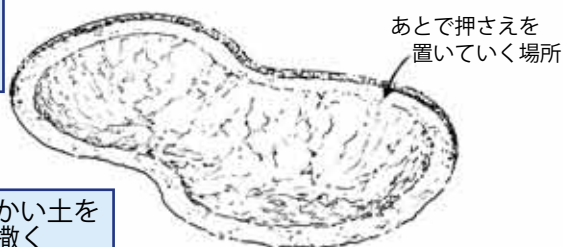


①造りたい場所に池の形を描き、穴を掘ります

池の近くに大きな木があると、根などで後々池に損傷を与えるので事前に確認する

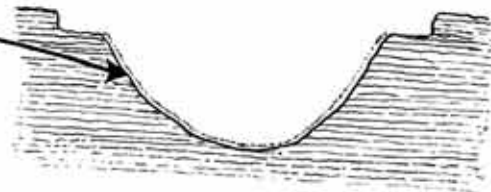


②掘った池のまわりを約15cmの深さで掘っていく

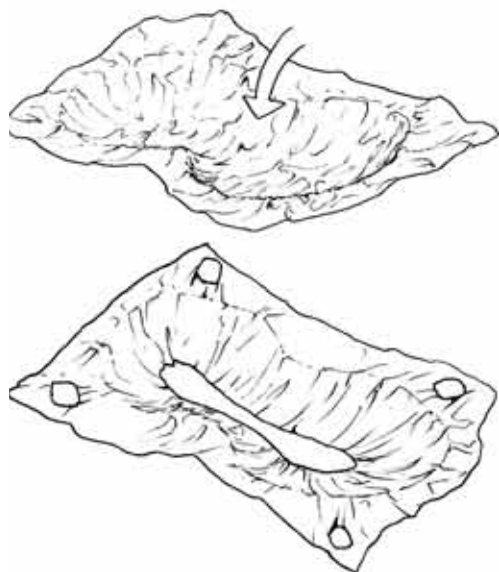


③池に細かい土を均一に撒く

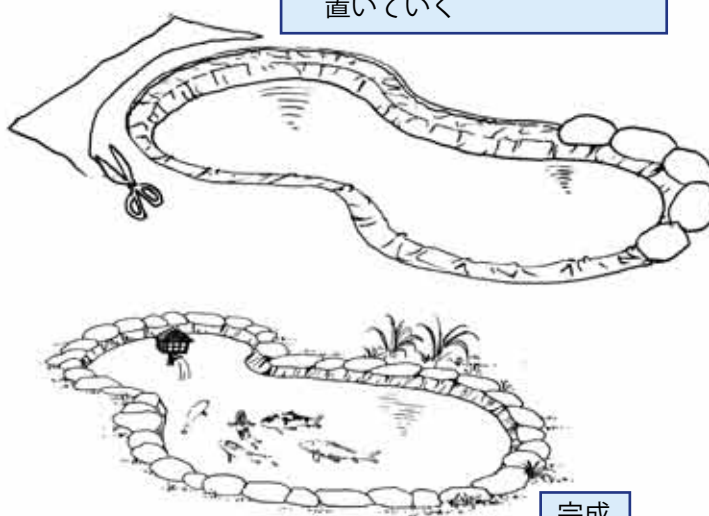
池の側面は土の崩れがない角度にしておくこと。
(土の質によって違いがあるが、60°くらいまで)



④防水シートをおおい被せ、少しずつ水を入れてシワを調整しながら、池の形に合わせていく



⑤水を入れ、満水になったらシートの余分を切っていく、まわりに押さえの石を置いていく



完成

図は『鱗光』2008年4月号「池は小宇宙」から抜粋しました。池の考え方の総論や水の浄化については同記事に掲載しております。